

津軽みらいの
わらしっ子

黒石市小屋敷

佐藤 遼陽 くん (1歳7か月)

佐藤拓郎さん・真澄さん 夫妻の子供
組合員名：佐藤拓郎さん

活発な遼陽くんは遊ぶこととアンパンマンが大好き！好きな果物はりんごで、撮影中もおいしそうに食べていました☆
父親の拓郎さんは、「将来、遼陽くんに農家を継いでもらい、いずれはJAの理事になってほしい」と話していました♪



笑顔いっぱい
育ててください！

文芸の広場

短歌

桃の花に願いをかけた雛壇に、
幸せ来ると親からの望み
元気良く返事をしての卒園式
泣いていた子もたくましくなる
崖の雪とけ出したらひよっこりと
福寿草の一株の花
平成の最後となる卒業式
一步ステップ社会人へ
奥津軽ストープ列車の車内にて
スルメ焼きの味噛みしめ
夢と希望叶えぬままに語らずに
娘にズバリと言いつてられて
有志連わらじ奉納山門に
あ・うんの仁王様睨みをきかせ
親の愛信じてやまぬ幼な子が
裏切られて旅立つとなる
櫻庭き奈
産土で合格祈願の母子あり
昔の我を重ねてみたり
雪深き光をさせば春かなと
思いを馳せる北国の春
娘は母を安じて誘ふ旅の宿
笑いこぼれる湯煙の中
幾許か先の見えない生き地獄
誰が受け止むこの苦しみを
星空に願いを込めて千羽鶴
愛しき人の命救わん
工藤キヌエ
歳老い食味も変わりカレーの味
昔辛口今は甘口
われ育てて自家用野菜だけの汁を
刻みて如月春遠からず
家紋の入る装束を着た行司いて
わが家と同じで親しみて見る
小野シミエ

草を焼く煙の里を発つバスに
手を振るやうに空へ上る
田楽の味噌の香の囲炉裏端
皆それぞれの春を語りぬ
小田和子

春の星眺めごとくりと缶珈琲
のど通る音確かめてをり
春田へと音こたませり耕運機
雪泥をかく力強さよ
小田慶喜

川柳

でくの坊採決の時は案山子なり
カミさんはじえんこかかったとポンポコポン
走馬燈タイムマシンと駆けっこす
大臣や原稿持って舟を漕ぐ
ボウリング冷や汗かいてミゾ掃除
白壁や昭和匂う蔵の町
多選は馴化ありてローカル線
覚蓮坊

除雪屋さん雪の固まりどいてくれ
体重計壊れはしないか二段腹
二度三度あつてはならぬ詐欺被害
勝ち放し俺にも一歩譲ってよ
今流行焼き場直行墓場まで
工藤キヌエ
いちにいさん声出し歩む散歩道
チコちゃんに叱られていたひなまつり
小田和子
ふるさとのことばかり見る夢の中
米朝と云うから桂かと思う
小田慶喜

俳句

園児らの楽しんでをり春吹雪
耕せば目を覚ましをり春の土
小田和子
風誘ふ里の小路や春淡し
ふわふわの里を行き交ふ木の芽風
小田慶喜

投稿される皆様へ 短歌、川柳など毎月の投稿ありがとうございます。
クローズドクイズ応募用紙と同じ住所へ投稿してください。(JA津
軽みらい文芸広場宛) また、読みづらい漢字には必ずフリガナをお願い
します。次回は5月に掲載となります。よろしくお願ひします。